

第 19 回 細胞機能制御学セミナー

Crossing Codes – at the interface between ubiquitin and sugar biology

Prof. David Komander

Head,
Ubiquitin signaling Division, Walter Elisa Hall Institute
Professor,
The University of Melbourne, Medical Biology,
Melbourne Australia

日時:2024 年 11 月 5 日(火) 16:00～17:00

場所:医学研究科・記念講堂

David Komander 教授はユビキチン研究で世界を牽引しておられる研究者の 1 人で、炎症性疾患、神経変性疾患との関連で多くの業績を残しておられます。その研究成果が高く評価され、新たな Division を作る目的で Walter Elisa Hall Institute に招聘されました。今回、横浜で開催される第 97 回日本生化学会大会 のシンポジウムで招待演者として来日される機会に、京都大学でセミナーをお願いいたしました。

近年、異常グリコーゲンが蓄積する疾患群、ラフォラ病(Lafora Disease)やポリグルコサン小体ミオパチーにユビキチン系が寄与することが報告されています。ユビキチンはこれまで、タンパク質のみを修飾すると考えられてきましたが、脂質、糖鎖も修飾することが示唆されています。Komander 教授は現在、ユビキチンによる糖鎖修飾に関して精力的に研究されています。本セミナーでは世界のユビキチン研究の現況から Komander 教授の最新の成果までお話して頂きます。多くの方々のご参加を心待ちに致しております。

連絡先:医学研究科・細胞機能制御学 岩井 一宏 内線 4671

E-mail kiwai@mcp.med.kyoto-u.ac.jp